

3/21-22

田んぼの生きもの調査から 環境保全と生物多様性農業を学ぶ

自然環境と共生し、生きものを育む農業を広め豊かな地域づくりに取り組むと、3月21日、22日の2日間「生物多様性農業のすすめ 田んぼの生きもの調査ガイドランス」(徳島有機農業推進協議会主催、小松島市生物多様性農業推進協議会共催)が、講師に岩渕成紀さん(NPO法人生物多様性農業支援センター理事・NPO法人田んぼ代表)を招いて行われました。

参加したのは、地元農家の方やJ Aの職員など約30人。初日は、調査した田んぼや水路には、メダカやヌマガエル、ハシリグモの仲間などが生息しており、水質や土質の状態は良好でした。



22日に行われた田んぼの生きもの調査の様子

3/25

消防団第15分団に 最新鋭の消防車両を配備



説明を聞きながら装備品を確認する分団員ら

地域社会の迅速な消防活動を促進するため3月25日、櫛渕地区の消防団第15分団(山中恒幸分団長)に市消防本部から最新鋭の小型動力ポンプ積載車が貸与されました。同分団に小型動力ポンプ積載車が貸与されるのは、使用しているポンプ車が老朽化による更新のため24年ぶり。貸与式の後、ポンプメーカーから操作説明があり、分団員らは真剣な表情で聞き入っていました。

4/10-11

春の山野草展 季節を感じる作品160鉢



会員らが丹精込めて育てた作品に見入る来場者

小松島みちくさ山草会(今川洸代表)主催の「第29回春の山野草展」が4月10日、11日の2日間、市中央会館で催されました。会場には、草玉、ヤブレ傘、丹頂草、一人静、糸スグリなど会員が丹精込めて育てた山野草約160鉢を展示。また、同会員が集めて育てた1000点を超える山野草や鉢のチャリティ即売会も行われ、お目当ての山野草などを手にした来場者は、終始なごやかな雰



囲気で購入していました。同会の山野草展は、毎年春と秋の年2回行われており、15年目を迎えた今年も盛況でした。

4/5

いつまでもお元気で 森ツタエさん満百歳を祝う



元気に満百歳の誕生日を迎えられた森ツタエさん

小松島町の森ツタエさんが4月5日、満百歳の誕生日を迎えられ、武中副市長や県職員らが森さんの入所する施設を訪問。祝い状や記念品を贈り長寿を祝いました。森さんは、明治43年生まれ。夫と靴店を営みながら3男3女を育てられました。また、趣味として30年ほど前から日本画を本格的に描き始め、展覧会で入賞されたこともあるそうです。